

IEO、為替相場政策に関する IMF の助言について、実効性の問題を指摘する

IEO、IMF のコーポレートガバナンスを評価する

IMF とサハラ以南のアフリカ援助に対する評価のフォローアップ-モニタリングが鍵

このニューズレターはインターネットでもご覧いただけます。

英語版は www.ieo-imf.org
アラビア語版は www.ieo-imf.org/lang_ar.html
中国語版は www.ieo-imf.org/lang_cn.html
フランス語版は www.ieo-imf.org/lang_fr.html
日本語版は www.ieo-imf.org/lang_ja.html
ポルトガル語版は www.ieo-imf.org/lang_pt.html
ロシア語版は www.ieo-imf.org/lang_ru.html
スペイン語版は www.ieo-imf.org/lang_es.html

ペリスコープ

この 8 月、IEO ディレクターのトム・バーンズは、ガーナの首都アクラで開かれたガーナ中央銀行の創立 50 周年記念シンポジウムで、「中所得国への道-低所得国支援における IMF の役割とパフォーマンスについて評価から学ぶこと (The Road to Middle-Income Country Status: Evaluation Lessons about the Role and Performance



最新の IEO 評価の両リーダー、ジョン・ヒクリンと高木信二、ビデオコンファレンスで結論を議論する。

IEO、為替相場政策に関する IMF の助言について、実効性の問題を指摘する

独立評価機関 (IEO) は、5 月に発表された最新の報告書の中で、1999 年から 2005 年にかけて IMF が加盟国に与えた為替相場政策に関する助言を分析した。1/ この報告書は、IMF サーベ

イランスの根本的な目的を再確認し、IMF のスタッフ、正副専務理事 (マネジメント)、理事会が一体となって、政策を明確化し、為替相場に関する助言を改善するよう求めている。IEO ディレクターのトム・バーンズは、さまざまな根拠に基づいて指摘する。「一言でいうと、IMF は為替相場のサーベイランスという責務を果たすうえで、必要なだけ効果的ではない」。

主な結論

IMF の基本的な責務のひとつは、為替相場政策について加盟国に助言することである。これに対して、加盟国は自国の為替政策が他国に与える影響を考慮する義務を持つ。

報告書は、「IMF スタッフによる優れた分析を数多く目にし、献身的で優秀なスタッフチームを多く知ることができた」としながらも、為替相場政策に関する IMF の助言には不十分な部分があり、IMF の主要業務における「実効性のギャップ」として現れていると指摘している。2 つの面で、不十分な部分が明らかにされた。第 1 に、各国による為替制度と相場水準の選択が国際通貨制度の安定性を確保するうえで最善であるかどうかを含め、核心的な分析的問題に十分な焦点が与えられていなかった。あまりにも頻繁に、為替制度の選択と相場水準に関する見解は不明確であったり、分析によって十分に裏づけされていないことがあった。第 2 に、加盟国との対話は十分に効果的でなかった。IMF の助言はときに、為替相場に関する重要な政策論議の一部とならなかった。IMF スタッフと当局者との協議では、重要な側面が議論のテーマから外されることもあった。また、適切な議論のために必要なデータが提供されないこともあった。当局者は、往々にして、IMF スタッフには政策実行の経験が欠けると認識していた。トム・バーンズは、「こ

of the IMF in Assisting Low-Income Countries)」と題するスピーチを行った。全文は http://www.ieo-imf.org/pub/speech/Mr_Bernes_Speech_in_Accra_Ghana_August_2007.pdf に掲載。

IEO は、最近完了した評価と継続中の評価を盛り込んだ 2006 年 5 月～2007 年 4 月期の年次報告書を発表した。IEO 評価の多くに共通する横断的なメッセージが導き出されている。

<http://www.ieo-imf.org/pub/ar/pdf/2007Report.PDF> からダウンロード可能。

IEO は現在、数人の新しいスタッフの人選をしている。『エコノミスト』誌と IEO のウェブサイト www.ieo-imf.org に掲載された広告を通して、多くの応募者があった。近々新しいスタッフを迎えることを楽しみにしている。

欧州における次回の IEO アウトリーチは、11 月 7～8 日にベルリンで行われる。この会議は、ドイツのシンクタンク、InWEnt (<http://www.inwent.org/index.en.shtml>) との共催によるもので、「為替相場政策に関する IMF の助言-IEO による評価」が報告され、IMF のコーポレートガバナンスに関して協議が行われる。

これは警告であり、IMF は加盟国における政策論議への貢献を再強化する方策を考える必要がある」と強調している。

「これは警告であり、IMF は加盟国における政策論議への貢献を再強化する方策を考える必要がある」(IEO ディレクター、トム・バーンズ)。

提言と新たな動き

IEO 報告書は IMF に対し、自らの役割および加盟国の役割をそれぞれ明確化することによって、サーベイランスの主要な目的を再確認するよう求めている。また、IMF の為替相場に関わる業務のやり方を改善するための具体的な措置も提言している。たとえば、1999 年以来おこなわれてない理事会による為替相場政策の全面的な見直しをすること。適切な為替制度と相場水準に関して学問的な合意がないことを踏まえ、より具体的な指針をスタッフのために作成すること。加盟国に対する助言の根拠を明確にする要件をスタッフに課すこと。当局者との対話の実効性を確保すること。組織横断的に、為替相場政策に関わる諸課題と取り組みに優先順位を付けること。データ提供の問題に対処すること。協議の機密性に関して加盟国が抱く懸念に対処するための新しい手続きに合意すること。多国的な政策協調の機会に戦略的な焦点を与えること、などである。

IMF 理事会は、今年、サーベイランスに関する IMF の権限を抜本的に見直すことに合意した。しかし報告書は、「サーベイランスに関する決定」が修正されるかどうかに関係なく、取り組むべき問題があることを指摘している。これらの問題を解決する鍵は、加盟国の信頼と、既存の法的枠組みの中で協力する意志を確保することにあるが、これには時間と努力が必要とされる。現在進行中のサーベイランス強化に向けた取り組みの中で、IMF スタッフは、IEO 提言のうち理事会が承認したものを実行に移すための計画を策定したところである。

¹『為替相場政策に関する IMF の助言、1999～2005 年—IEO による評価』、2007 年 5 月 17 日。評価の根拠は、加盟国に関する書類調査、加盟国当局者、IMF スタッフ、IMF 理事、市場関係者の聞き取り調査、および加盟国当局者と IMF スタッフのアンケート調査による。報告書の全文は、IMF スタッフ、マネジメントおよび理事会の反応とともに、http://www.ieo-imf.org/eval/complete/eval_05172007.html からダウンロード可能。

IEO、IMF のコーポレートガバナンスを評価する

IEO が現在進めている評価は、IMF ガバナンスのさまざまな側面に焦点を当てる。これらには、IMF 理事会の役割、組織の構造、IMF の活動や意思決定を規定する公式、非公式関係が含まれる。作業は進行中であり、IEO は 2008 年月中旬に報告書を発表する予定である。

設立から 60 年間、IMF は加盟国数と使命において大きな変化を経験し、ガバナンス構造もそうした変化に適応すべく進化してきた。こうした進化は効果的であったと言う人々もいる一方で、IMF のガバナンス構造は抜本的な見直しを必要としていると言う人々もいる。後者によ

た、説明責任の境界線が不明確で、専務理事の選定のみならず日常的な意思決定においても透明性が欠如しているという批判もある。IEO 評価は、こうした批判の真偽を見きわめると同時に、現行のガバナンス制度を強化できる部分を特定する。（この評価は、現在活発な検討がなされている IMF における投票権や株主構造の問題は取り上げない）。

新専務理事の選定

現在、IEO は「IMF のコーポレート・ガバナンスの諸側面—理事会の役割を含む (Aspects of IMF Corporate Governance—Including the Role of the Board)」という評価プロジェクトを進めているが、その作業の一環として「IMF の専務理事、筆頭副専務理事の選定および任命プロセス (The Process for Selecting and Appointing the Managing Director and First Deputy Managing Director of the IMF)」というタイトルのバックグラウンドペーパーを委託した。

この背景資料は、デビッド・ペレッツ (David Peretz) が作成したもので、現行の公式・非公式プロセスを分析し、他の国際機関と比較した上で、複数の改革案を検討している。

ロドリゴ・デ・ラト専務理事が年次総会後に辞任すると発表したことで、この IEO 資料には予期せぬ話題性が加わることとなった。
<http://www.ieso-imf.org/pub/background/pdf/BP071.pdf> からダウンロード可能。

この目的のため、当評価は、IMF 協定や内部文書に規定されたガバナンス慣行とともに、他の国際機関、政府機関、民間部門が採用しているガバナンス慣行を検証する。この文脈において、IMF のガバナンス構造の中核であるマネジメント、理事会、国際通貨金融委員会 (IMFC) の関係が分析される。IMF 総務会、スタッフ、さまざまな加盟国の集まりは、こうした組織との関わりの中で取り上げられる。

これら 3 種類の比較対象 (ガバナンスに関する IMF 自体の資料、他の国際機関、官民の諸組織) は、全体として、堅固な基礎的情報を提供するはずである。IMF 以外の組織はそれ自体では IMF におけるガバナンスの判断尺度として適さないとしても、周到で洞察力ある評価を可能にするであろう。

評価は、現行のガバナンス構造の詳細な分析、その進化の歴史的概観、そして国際機関や官民組織との比較などの主要なパートからなるが、これらは、一連のアンケート調査とともに、主要な結論と提言をまとめるメインレポートの根拠となる。加えて、IEO は、戦略的計画や政策実施、監督と説明責任といった主要なガバナンス機能が実際にどのように実行されているか、ケーススタディによって検証する。

IMF とサハラ以南のアフリカ援助に対する評価のフォローアップ—モニタリングが鍵

リカ援助に対する評価（Evaluation of the IMF and Aid to Sub-Saharan Africa）」の提言を実行に移すための正副専務理事（マネジメント）による計画を承認した。2/ 承認された実行計画は、IEO 評価で指摘された具体的な問題点に対処する複数の活動の工程表を示している。

これまで理事会は、この工程表の2つの主要な部分に関するペーパーを審議した。最も重要なのは、「貧困削減・成長ファシリティー（PRGF）」によってサポートされたマクロ経済プログラムにおける援助金の扱い方に関する政策を明確にすべきであるという IEO の提言に関わるものである。審議の中で、理事は援助の予測および複数の援助シナリオの活用、援助の歳出と国内消化、PRGF における援助額の調整方法（adjusters）について、現行の政策を明確化し、再確認した。

IEO の「IMF とサハラ以南のアフリカへの援助に対する評価」は、IMF が政策を明確化すること、その実行をモニターすること、率直にコミュニケーションをはかること、駐在代表の役割を定義することなどを提言した。

さらに理事会は、IMF のコミュニケーションが IMF の政策や慣行と整合的でなければならないとする IEO 提言のフォローアップも検討した。この審議では、理事会が承認した政策に IMF の広報活動を確実に一致させるための施策をとることによって、政策をいっそう明確化する努力を補完する重要性が強調された。

3 番目の提言、すなわち駐在代表の役割と支援、およびミッションチーフと援助国グループや市民社会との接触に関する提言は、援助国間調整と加盟国の貧困削減戦略における IMF の役割に関するペーパーの中で検討されることになっている。

明確化された PRGF 政策の実行をモニターし、評価するという IEO 提言に関するマネジメントの今後の指示はまだ具体化されていない。次回の理事会による考察は 2010 年に予定されている。しかし、スタッフの活動と IMF の説明責任に与える影響を最大化するためには、そのかなり前に IMF のパフォーマンスを測り、評価するための基準を明らかにするモニタリングの枠組みが必要とされる。

² 「IMF とサハラ以南のアフリカへの援助に対する IEO の評価」は、www.ieo-imf.org から、英語版、フランス語版、ポルトガル語版が入手できる。IEO 報告書の理事会審議に関するパブリック・インフォメーション・ノーティス、および本稿で引用した3件の理事会審議のパブリック・インフォメーション・ノーティスについては、以下を参照。

<http://www.imf.org/external/np/sec/pn/2007/pn0793.htm>

<http://www.imf.org/external/np/sec/pn/2007/pn0793.htm>

<http://www.imf.org/external/np/sec/pn/2007/pn0783.htm>

<http://www.imf.org/external/np/sec/pn/2007/pn0774.htm>